



◎自分をみつめよう

5年ほど前だったでしょうか。ハローワーク（公共職業安定所）の方が、中学生に対して就職に関するお話を聞かせてくださる機会がありました。

その中で「なぜ、中学卒業者に対する求人がないのか」ということについて、雇い主さんの言葉を使って説明してくださいました。

中学卒業段階の人間には、まだ世の中で働くということに対する
気力（精神的発達）と体力（身体的発達）が備わっていないのだ、と。

厳しいけれど、「これが現実なのだなあ」と思いました。

続いてハローワークの方の話は、高校を卒業するまでにしておいてほしいこと、つけておいてほしい力へと進んでいきました。それは、

1、自分を知ること。

自分はどんな人間なのか、自分はこういったことが好きで、こういったことに向いているのか、よく考えておいてほしい。

2、学校生活、日常生活における、やろうと思ったこと、

やらねばならないことに積極的にチャレンジすること。

これから先にどのようなことに会うかは、わかりません。偶然出会ったことに興味を持ち、チャレンジし続けることで、それが自分の職業になることはよくあることです。

また、仕事につくとやらねばならないけれど、やりたくないからやらない、などということは全く通用しません。やらねばならないことをしっかりやり遂げていくべきです。

3、社会に出て恥ずかしくない体力、知識を身につけておくこと。

4、（特に目上の人との）コミュニケーション能力を身につけておくこと。

5、世の中のことを知ってほしい。

社会に出れば、当然たくさんの人とのかかわりの中で生きていかななくてはなりません。

かかわりを持つということは、さまざまな会話をするようになります。いろいろな知識があれば、やはりたくさんの人との輪の中に入っていくことができます。

また、仕事を始める、その最初のころ、自分の周りは目上の人が大半でしょう。そんなとき、ともにあいさつができない、敬語を使うことができない、きちんと話すことができない、それでは社会人としてすみやかなスタートを切ることができません。

高校などに進学したら、もっと自分を広げ、力をつけていってください。

ということでした。自分をみつめ、力をつけていってください。

12月の行事予定を掲載しています。